

行政視察報告書

令和6年11月18日

長浜市議会議長 高山 亨 様

長浜市議会議員 松本 長治

私が出席した次の行政視察の結果について報告します。

記

1. 視察等名 令和6年度議会活性化検討委員会・議会運営委員会合同行政視察研修
2. 視察期間 令和6年10月30日（水）
3. 視察場所及び目的
①岐阜県可児市議会
「議会改革・議会活性化について」
4. 調査内容感想等

・視察の目的

議会改革の先駆者である岐阜県可児市議会ですが、今回視察をさせていただき、現在取り組んでおられる委員会代表質問の内容について、市民の皆さんとの意見交換会の行い方について、また、今後のオンライン会議に向けた取組などを中心に学びたい。

・視察の内容

議会だよりを読んでおられる方は、一定議会改革にも意識はあるが、読んでおられないと何のこと？といった人が多いと感じている。これまで3回住民アンケートを行ってきたが、議会への関心度は下がってきている。今後はなお関心度を上げるための取組、特に議会の見える化が必要と考えているとのことでした。

(可児市議会の特徴)

・一般質問や議案質疑については、テーマについてわかりやすい一問一答方式か、一括質問かを選択できる。

・反問権の付与

・自由討議ができるよう規定されている。

長 浜 市 議 会

(4つのサイクルアニュアルプラン)

・議会運営サイクル

期が終わる時に、引き継ぎ事項の確認を行う。

正副議長選挙の際、議長からの引き継ぎ事項を含めた、所信表明演説を行う。

・予算決算審査サイクル

重点事業説明シート 重点事業点検報告書の提出を行なってもらっている。

・意見聴取・反映サイクル

市民意見の集約→所管事務調査→市へ政策提言

議会報告会 スクール形式から意見聴取に重きを置いたやり方。

各テーブルでテーマに合わせて意見交換。

・若い世代との交流サイクル

小学校のお仕事体験に、議員の体験を行っていただいた。

産業フェアにブース出店。(もっと身近に！可児市議会)

2週間に一度は、市民の方と何かしらの懇談している。

(他の取組)

委員会代表質問。(報告会などでいただいた意見)

・委員会において、十分に調査研究をおこなう。

・答弁を含めて1時間(一般質問と同じ)

・緊急性・必要性を勘案し、委員会の全会一致で行う。

・質問者・論点・想定問答を検討、承認を得る。

・委員会代表質問は、一般質問の少し前に提出することにより、一般質問とダブらないよう注意をしている。

・必ず毎回すべて委員会が委員長代表質問を行うとは限らない。

(情報発言の取組)

・自治会を通しての議会だよりの配布

・YouTube. Facebook. FM ららなどの広報番組の活用

また、オンライン会議については、大規模災害や感染症蔓延などのような場合や、介護・子育てで出席が難しいと思われる場合などにも活用できるよう、現在検討しており、これらは委員会条例・委員会の会議規則に則って行っている。

特に、オンライン委員会について独自に考えていることは、委員長の進行における退席などの処置が必要となった場合、通信を切るよう規定しているとのことでした。

(高校生議会)

- ・可児高等学校探求学習を通して市への提案をされた。
- ・可児高発議第1号「探究活動に対する支援に関する意見書」を全会一致で採択
- ・要望事項の内容は、可児市役所内に若者の探究活動を支援する部署を設置すること

・行政視察の結果を本市にどのように反映させるか・視察の目的

可児市議会では、市民の皆さんとの意見交換会を、ほぼ2週間に1度の頻度で行っておられるにもかかわらず、市議会議員選挙の投票率がかなり下がってきており、このことを大変危惧されていましたが、確かに本市に比べてもかなり低い投票率で、取組と結果の差があまりにも大きく感じられます。

このことから、当市でも投票率の低下が、少子化・高齢化に重なって進むことを想定すると、そもそも民主主義の根幹にかかわる話になりかねないことから、より積極的に市民の皆さんに議会や市政に関心を持っていただけるよう、特に発信についても努力をする必要があると思います。

あわせて、議会の発信が市民の皆さんに全て受け入れられていると思い込むのではなく、常に求めておられることを、的確につかむ努力を行わなければならないと思いました。